

絶滅危惧種であり天然記念物である海鳥のカムリウミスズメは、美しい牟岐の海を子育ての場として選び、その小島を繁殖地としています。近年、その繁殖地が天敵により侵襲を受けていることが懸念されてきました。牟岐町の宝物であるカムリウミスズメと共存し続けて行くには何が必要なのでしょうか。今回、カムリウミスズメに詳しい3名の専門家をお招きしました。本講演会がカムリウミスズメについての理解を深め、とるべき行動の指針を考える機会になれば幸いです。

プログラム 2023年11月26日日曜日 13時30分～16時30分

はじめに 牟岐町からご挨拶 榎富 治 町長

第1部：「牟岐のペンギン、カムリウミスズメって何？」

演者 公益財団法人日本野鳥の会自然保護室 田尻浩伸室長

第2部：「牟岐町のカムリウミスズメの繁殖期調査結果」

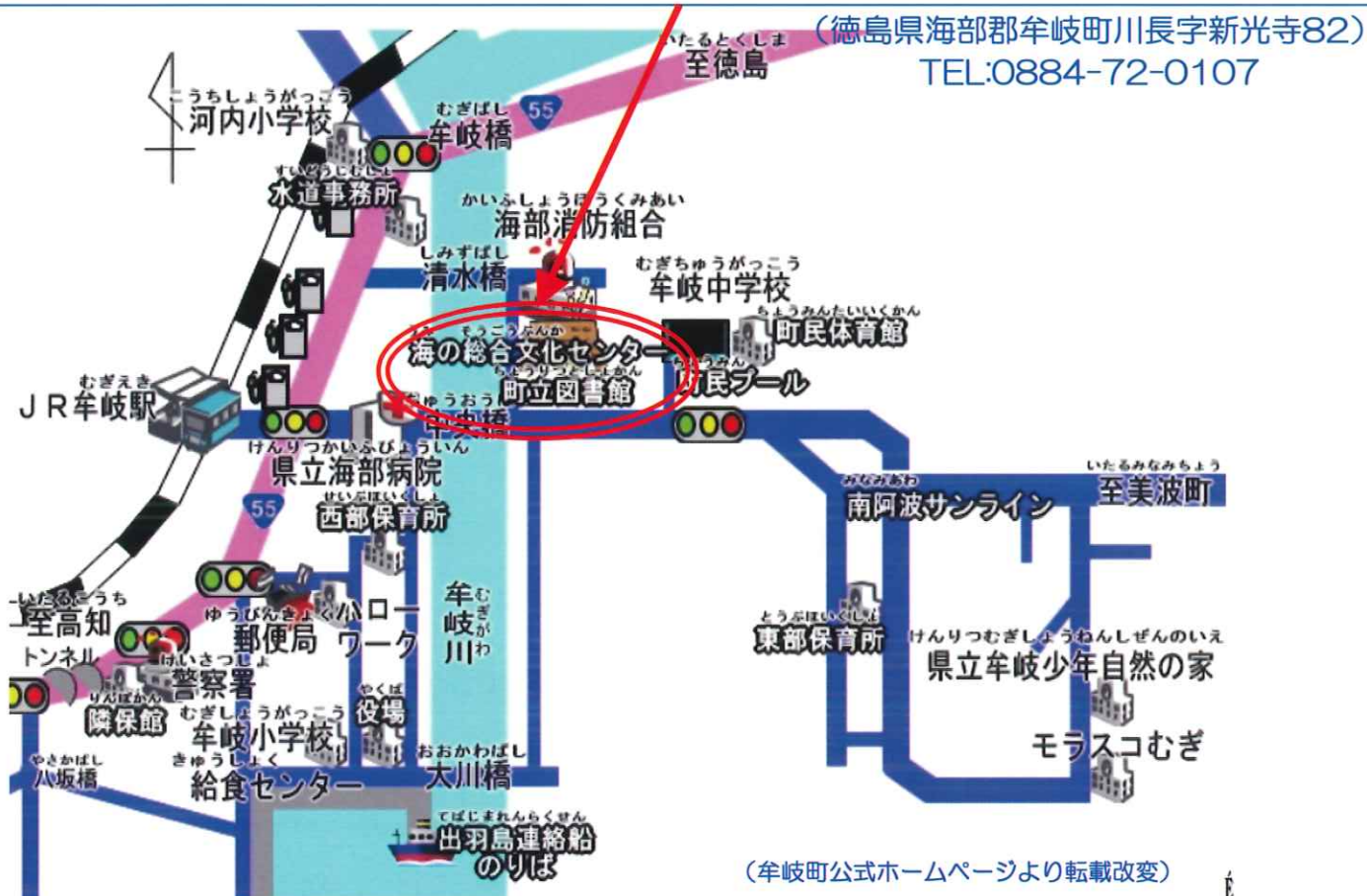
演者 北九州市立自然史・歴史博物館名誉館員 武石全慈先生

第3部：「枇榔島のカムリウミスズメを見続けて36年」

演者 日本野鳥の会宮崎県支部 副支部長
NPO法人宮崎野生動物研究会副理事長
門川町文化財保護審議委員 中村 豊先生

おわりに 牟岐町教育委員会からご挨拶 今津久仁教育長

会場：海の総合文化センター ホール



(牟岐町公式ホームページより転載改変)